

沿岸海洋シンポジウムのお知らせ

沿岸海洋研究会では、下記のシンポジウムを開催します。多数の方々のご参加を期待します。

沿岸海域における懸濁物質・海底表層堆積物の動態研究の現在

主催：日本海洋学会沿岸海洋研究会

コンビーナー：速水祐一（佐賀大）、八木宏（水工研）

日時：2012年9月13日（木） 13:00～17:00

場所：東海大学海洋学部（会場未定）

会長挨拶（13:00～13:05）：武岡 英隆（愛媛大・CMES）

主旨説明（13:05～13:15）：速水 祐一（佐賀大・低平地沿岸海域研究センター）

1) 粘着性底泥の巻き上げと沈降の物理学概論

(13:15～13:40)

山本 浩一（山口大）

2) 懸濁物による栄養塩吸脱着の重要性

(13:40～14:05)

徳永 貴久（西水研）

3) 河口・沿岸域における懸濁物質の挙動と物質循環

(14:05～14:30)

杉本 亮（福井県立大）

——— 休憩 ——— (14:30～14:40)

4) 微細藻類の生活史に関わる再懸濁作用

(14:40～15:05)

一見 和彦（香川大・瀬戸内圏研究センター）

5) 軟泥底の底生動物の研究と境界層

(15:05～15:30)

齊藤 肇（水工研）

6) 有明海における懸濁物動態の実態とモデル化

(15:30～15:55)

濱田 孝治（佐賀大・低平地沿岸海域研究センター）

7) 東京湾における底泥挙動の実態とモデル化

(15:55～16:20)

中川 康之（港湾技研）

8) 総合討論 (16:20～17:00)